

平成30年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標 (注)
1	<p>子育て環境日本一の 実現</p> <p>(結婚から子育て までの安心)</p>	<p>○出会い・結婚支援から妊娠・出産、子育て、教育等まで総合的な施策を展開し、子育て環境日本一の京都を目指します。</p> <p>安心して「結婚」・「出産」できる京都づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■きょうと婚活支援センターにおける婚活支援と、若者が結婚・子育てと仕事の両立について学ぶ機会を提供 ■不妊治療と仕事の両立できる環境整備 【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・両立に向けた相談窓口の設置や普及啓発、働きながら不妊治療を継続できる環境づくり ■周産期医療体制の充実 【新規・拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・総合周産期母子医療センターの充実等による受入体制の強化及び退院後フォロー体制の構築 ・保育所への看護師配置など医療的ケアを必要とする子どもへの支援強化 ■子育て世代包括支援センターを核とした産前産後サポート体制の推進 <p>安心して「子育て」できる京都づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■保育等子育て環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・保育の質の向上等のための小規模整備への支援や、保育士の負担軽減のためのICT化の推進 【新規】 ・保育所等の運営助成をはじめ、病児・病後児保育等の整備促進 ・第3子以降保育料無償化の実施 ■保育人材の確保・定着支援 <ul style="list-style-type: none"> ・4年制大学の学生にも対応できるよう保育士修学資金貸付事業の創設 【新規】 ・よりきめ細かく職階に応じた役割等と処遇を連動させた「京都式キャリアパスモデル」の定着、保育士確保キャンペーンの実施等 ■子育て支援医療助成制度の拡充検討 【新規】 ■子育て・介護ダブルケア相談支援体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置及びピアサポーターの養成・派遣、企業セミナーの実施等 【新規】 ■児童虐待対応力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所と市町村、警察、医療機関など関係機関との情報共有、連携強化等の取組みを推進

(注) 目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>安心していきいきと暮らせる健康・福祉社会の実現</p>	<p>○大学、市町村、医療保険者と連携し、健診・診療レセプト・介護等のデータを活用し、だれもが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らせる健康・福祉社会の実現を目指します。</p> <p>健康づくり・疾病予防・生活習慣病の重症化予防・介護予防対策の充実</p> <p>■府民の健康課題をデータ分析で「見える化」とともに、実効性の高い対策を進めるため、「健康長寿・データヘルス推進事業」を展開し、健康長寿日本一を目指します。【新規】</p> <p>① 生活習慣の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率、がん検診受診率等の向上、ロコモティブシンドローム、フレイル対策の推進 <p>② 疾病予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携し働き盛り層等を対象とした予防対策及び健診データ等に基づく質の高い保健指導の実施 <p>③ 生活習慣病の重症化予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病の重症化予防プログラムを府内全域で展開。受診勧奨、受療中断者への働きかけを強化 <p>④ 介護予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護事業所、NPO等の多様な主体による地域ぐるみで高齢者を支える仕組みを実施 <p>超高齢社会に対応した医療・介護サービス提供体制の整備</p> <p>■住んでいる地域にかかわらず、いつでも安心・安全な医療・介護サービスを提供</p> <p>①在宅医療・療養環境等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で在宅医療・療養を支える医師の確保 ・訪問看護ステーションの看護師に対する事務負担を軽減【新規】 ・かかりつけ医、看護師、ケアマネージャー、介護従事者など、地域包括ケアを支える多職種が連携した「在宅チーム」の活動支援を推進 ・介護事業のICT化等による介護従事者の業務効率化【新規】

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>安心していきいきと暮らせる健康・福祉社会の実現</p>	<p>②認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症総合ケアセンター（宇治市）と同様の機能を担う「認知症ケアセンター」を整備【拡充】 <p>■介護・福祉を支える人材の確保、養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所の人材育成・定着に向けた府独自の「認証制度」を推進（⑳から㉔の3ヶ年で7,500人確保） ・介護事業のICT化等による介護従事者の業務効率化【新規】 <p>安心できる医療提供体制の整備</p> <p>■医療の高度化や疾病構造の変化に的確に対応できる基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立医大で陽子線治療を推進【新規】 ・北部医療センターにがん診療棟を整備【新規】 ・北部地域にリハビリテーション支援拠点を整備（中丹東保健所内）【新規】 ・府立洛南病院の整備による精神科救急等政策医療の充実【新規】 <p>■地域医療を支える人材の確保・養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北中部地域の病院で勤務する医師（専攻医）をさらに確保するために研修環境等を整備【新規】 ・府立医科大学と連携し、総合的な医師確保対策を推進し、地域医療に従事する医師を確保 ・在宅医療を担う訪問看護ステーションの看護師に対する事務負担を軽減【新規】

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 健康福祉部 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	共生社会の実現	<p>○すべての人がお互いの個性を尊重し認め合いながら、共に支え合う共生社会の実現を目指します。</p> <p>子どもの成長を地域全体で守り、支え、育む社会</p> <p>■貧困の連鎖を断ち切るための仕組みを強化【新規・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きょうとこどもの城強化拡大事業（こども食堂、フードセンター、居場所）」 <ul style="list-style-type: none"> … 実施箇所の大幅増加（㉙116箇所→㉚150箇所） ■健やかな育みを支えるための新たな仕組みを展開【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・「京都版コレクティブハウス開設事業」 <ul style="list-style-type: none"> … 居住者同士や地域ぐるみで、育児や家事をサポートしあう新たな住環境を創設 <p>障害のある人もない人も共に支え合う社会</p> <p>■社会参加の仕組みを充実【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言語としての手話の普及を進めるとともに聞こえに障害のある人とない人とが支え合う社会づくり条例」（聞こえの共生社会づくり条例）による聴覚障害者の社会参加と就労環境の向上、府民理解の促進 <ul style="list-style-type: none"> … 聞こえのサポーターを養成（400名程度を養成）、府主催イベント等で手話通訳や要約筆記を実施 … 授産製品による「京のはあと製品選手権（コンテスト）」を開催し、競争力の高い商品開発と工賃向上を支援 ■京都式農福連携をさらに発展【拡充】 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等との連携により、農福に携わる人材を育成し、製品の6次産業化を促進 ・府内の農福連携事業所の倍増（㉙17箇所→㉚32箇所） ■障害者のスポーツと文化芸術の振興を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京パラリンピックを見据えた認知度の向上、裾野の拡大とトップアスリートや指導者の育成支援 ・大学、企業、美術館など、オール京都体制（きょうと障害者文化芸術推進機構）で障害者の芸術活動を支援

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。